

スクールソーシャルワーカー活用事業 【拡充】

H31年度予算要求額: 24,721千円(2,053千円増)

目的: いじめ、不登校、暴力行為など生徒指導上の課題や児童虐待に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技能を用いて、子どもの置かれたさまざまな環境に働きかけて支援を行うスクールソーシャルワーカー(SSW)を活用し、教育相談体制を整備する。



予算要求のポイント

- SSW: 非常勤職員へ 7名(体制強化し、1名減へ)
- 区役所での活動日 週 半日勤務を継続
- 週4日勤務(拠点校数増へ) 1名で拠点校4校担当
- スーパーバイザー体制の強化(2名へ)

- ① 拠点校を増やし、SSWの活用促進を図る。
- ② 区教健との連携を図る。
- ③ 学校からの要請に迅速に対応できるようにする。
- ④ 継続支援の充実を図る。

●国の動向

【目標】平成31年度までに、**SSWを全ての中学校区に配置**(約1万人)